

第45回(公社)宮城県芸術協会音楽コンクール ピアノ部門 予選

上級

予選通過者番号

1	3	5	6	10					
---	---	---	---	----	--	--	--	--	--

審査講評: 岩倉 敦子 審査員長

古典派のソナタは、ある程度の進度に達したら必ずお勉強しますね。音楽の土台となる大切な要素がぎっしり詰まっているからです。今回、全員がよく練習して最後までしっかり弾ききったことにまず感心しました。本当にお疲れさまでした。審査員の先生方のご意見を紹介します。

- ・何拍子の曲か、何拍目から始まるのかを呼吸と共に感じて演奏してほしい。(拍子感)
- ・右手のメロディーと対になる左の動きも、和声感を大切にしながら丁寧に考えてほしい。
- ・楽譜をよく見て構造を分析し、自分らしい歌い方や音色を追及してほしい。
- ・テンポの速い曲は、慣れてくると短い音が流れてしまったり、左右が揃っていないくても勢いで弾いてしまいがちなので、敢えて丁寧にゆっくりさらう練習も必要。

参考になさりながら、どうぞ今後の演奏にお役立てください。

特級

予選通過者番号

1	2	3	4						
---	---	---	---	--	--	--	--	--	--

審査講評: 岩倉 敦子 審査員長

特級は全員がロマン派の音楽に取り組み、想いのこもった演奏を聴かせていただきました。今後より良い演奏をするためのアドバイスを先生方からいただいております。

- ・ホールに合わせた音作り(残響の多い、または少ないホールの状態に合わせたタッチとペダルの工夫。とても難しいことですが、普段から意識していただきたい)
- ・メロディー以外の声部の構造と役割をよく考える(和声的な役割、影のメロディー、作曲家が意図した仕掛け等を理解して、音としてきちんと表現する)
- ・音楽が持つ自然なアゴーギグを大切にする。

音楽は、とても内面的なものを根底にして生まれるものですから、ピアノ以外の音楽も聴いて音のイメージを膨らませ、いろいろなことに感動して豊かな感性を育てていってください。